

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【熊本県・熊本市】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	熊本市立北部中学校1・2年生 420名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ( 総合的な学習の時間 )</p> <p>② 行事名 ( )</p> <p>③ その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	<p>① 2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会への機運を高める。</p> <p>② オリンピアンの方の生き方を学ぶ。</p>
5 取組内容	<p>オリンピックによる講演会及び実技指導</p> <p>平成31年2月1日(金)に本校体育館にて、成迫健児さん(北京オリンピック陸上400mH・4×400mR 出場)を迎え、講演会及び実技指導を行った。</p> <p>①講演</p> <p>成迫さんは、はじめにご自身が出場した動画をみながら、400メートルハードルの説明があった。そして、ハードル走に必要な技術やタイム、また、気をつけている点等を詳細に説明された。</p> <p>その後、ご自身の競技歴を話され、順調に進んでいた競技生活であったが、アテネオリンピックに出場できない状況になり、苦悩した体験を話された。また、そのような経験をしたことで自分の競技力向上のために何をすればよいか考え、工夫することで、競技力が向上し、北京オリンピックに出場することができたという話や北京オリンピックでは思うような結果が出なかったが、足りなかったのはウサイン・ボルト選手のような競技を楽しむという考え方であったということを詳細に話された。</p> <p>そして、挑戦することの大切さを忘れずに頑張してほしいということでご自身が今から挑戦することを話された。</p> <p>②実技指導</p> <p>放課後の実技指導では本校グラウンドにて陸上部だけでなく男子バスケットボール部も参加して、速く走るための姿勢づくり・重心移動・足の切りかえ・接地などの基本動作を指導していただいた。</p>

6 主な成果	講演の内容から、夢をもってみよう・ポジティブ思考になろう・なんでも挑戦してみよう・努力することの大切さが改めてわかったなどの感想が多かった。このことから今後、普段の生活から努力をしていこうという生徒が増えてくると思われる。そして、実技指導中は参加生徒がとても生き生きと活動していたのが印象的だった。
7実践において工夫した点 (事業の 特色)	講演の内容において、その時々のお気持ちの部分や精神的な揺れなどを話していただいた。そして、講演だけでなく、放課後に陸上部以外の部活動にも呼びかけ、実技指導を実施していただいた。
8主な課題等	事前の打ち合わせや準備する時間が不十分であり、PC やプロジェクターの映像機器の不具合が最初に出してしまった。
9来年度以降 の実施予定	実施予定の方向である